



僕らの力で地域を元気に!

平成29年9月20日発行(昭和51年12月1日発刊)

長野市松代町 豊栄地域の 中学生有志が結成した 豊栄地域活性化委員会

松代中学校に通う6人は小学校からの同級生。生まれ育った愛するふるさとを元気にしようと、「豊栄地域活性化委員会」を立ち上げました。

ただいま活動中!

豊栄が元気になるほしい
豊栄の良さを知ってもらいたい
豊栄が大好きだから……



皆神山 春マラソン大会にて

委員会のメンバーは、井出昌輝君(委員長)、久保勇翔君(副委員長)、海沼大輔君(会計)、富田翔大君(広報)、中村慶一郎君(委員)、井口友海君(委員)の現在6人で活動中。



マラソン大会開催は小学生の頃からの企画です

チラシを作り、社協を通してPR

委員長に聞きました

豊栄は自然が豊かな地区で、山も川も僕らの遊び場でした。小学生のときに作ったまち歩きガイドをもとに、昨年社協さん主催の豊栄ウォーキングでボランティアガイドをしたことで、あらためて豊栄の良さを知りました。そこで、大好きな豊栄をたくさんの人に広めたくて、仲の良かった友だちに声をかけて、活動を始めました。みんなで集まって、自由にワイワイ考えてやるのが楽しくて、それが豊栄のためになればいいなと思っています。



豊栄地域活性化委員会 委員長 井出昌輝君

こんな活動をしています

- 1 子どもボランティアガイドに参加
社協の世代間交流事業で、地元のおすすめスポットを案内しました。
- 2 清掃活動・雪かき
沿道や公共施設の草取りやゴミ拾い、冬は雪かきをしています。
- 3 皆神山 春マラソン大会を企画
パワースポット皆神山を舞台に、走りを楽しみながら大勢の人に豊栄の良さを知ってもらおうと企画。80名以上が参加し、見事成功させました。
- 4 豊栄のPR動画を製作
豊栄地区の見所を写真に撮り、PR動画にしてネットで配信しています。
- 5 「豊栄地域活性化通信」を発行
豊栄の話やお知らせ、自分たちの活動を通信にして配布しています。
- 6 暮らしの困りごと調査
豊栄地域の住民を対象に「暮らしの中で困っていること」について調査。一人暮らしのお宅の雪かきなど、できることはお手伝いします。
- 7 皆神山サラダうどんを考案
食の名物を作ろうと考案。うどん店のご主人が協力してくださいました。などと、今後も活動を企画・展開中!



松代地区福祉大会で活動を発表

手作りの通信も発行



豊栄のスポットを動画配信



冬場の雪かき



いつもきれいにしてくれて、ありがとうございます!

中学生の熱意に押されて、地域のたくさんの人たちが協力



孫の世代がやることなら力を貸さないとな。

彼らの活動を見習いたい、町民みんなで考えて動かないといけないですね

地元でマラソンが出来るなんて本当にうれしい

マラソン大会は、まちの社会福祉協議会の方に相談して、地域の人にも協力してもらうことができました。

企画力抜群で、アイデアが豊富。行動力があります。なにより、彼らの熱意が地域を動かしたことは、スゴイことです!大会では、ランナー、ボランティアが120名、応援ギャラリィは30人も集まり、豊栄をみんなが好きになったと思います。「暮らしの困りごと調査」は、実は社協の仕事ですね。井出君たちの活動に刺激されて、隣の地区の中学生も活動を始める動きがあるんですよ。

彼らのことが、スゴイんです!



松代地区社会福祉協議会 北村玲子さん

僕らの地区も負けずにがんばろう!

各校のボランティア・地域活動の紹介

飯田市立 飯田西中学校

ふるさとへの恩返し

地域のために、自分たちができること



お年寄りの家でお手伝い



清掃活動



地域の方と話しよ。達成感!



お疲れ様

清掃後の交流

飯田西中学校では、3年生が、生まれ育ったこの地域に対して「自分たちに何かできることはないだろうか?」と考え、毎年、総合的な学習の時間に地域貢献活動をしています。公民館とも協力し、お年寄りの家に行ってお手伝いをしたり、地域の方々といっしょに公民館や神社などの清掃を行ったりしています。昨年度もこの活動を行いました。作業が終わった後、たくさんの人に「ありがとう」と言ってもらえたり、お礼の手紙をいただいたりして、自分たちの活動がふるさとへの恩返しになっていると感じました。活動の後は地域の方とも交流ができ、「やってよかったなあ」とうれしくなりました。この活動を通して、自分たちが地域の方々に大切にされ、支えられていることを改めて感じることができました。これからも自分たちにできる恩返しをしていきたいです。

「私たち老夫婦にとって本当にうれしく、助かりました。幸せな一日でした」(草取りのお手伝いへのお礼の手紙より)

いつも地域の方がきれいにしてくれているんだ。

新しいカーテンに換えよう。

地域のことをもっと教えて下さい。

あの震災を忘れないで!

「生坂村ハザードマップ」を作ろう 災害福祉学習

生坂村立 生坂中学校の取り組み



現地調査



ハザードマップ作り



災害時を想定して炊き出しを体験

みんなが見て一目でわかるマップにしよう

地区の区長さんから、災害が発生しやすい場所や地形、過去に災害が起きた時の話をいただきました。防災倉庫の整備状況を自分たちの目で見てわかりました。

災害の起きた場所、危険がありそうな場所、すでに整備された場所など、調査の結果をもとにしてどうすればいいかを話し合い、ハザードマップ作りしました。

炊き出しは、初めてでも、どんな人でも作れるんだね。

あの道はもっと整備したほうがいいよね。

災害に遭った時には、今回の学習を思い出して、自分から動けるようになりたい。

本当に災害が起きた時には、地域の人たちみんなで助け合えないといけないので、今回の体験は大切だった。

創立70周年 地域とともに

未来に向けて、新たな一歩を踏み出す



鎌田山で自然を体験(1年生)



地域企業を調べる(2年生)



地域の先輩からお話を聞く(3年生)

常盤中学校では、総合的な学習の時間を使って、地域についての学習をしています。1年生は地域の「自然」。学校近くにある鎌田山に登ったりしながら、自然を感じています。2年生は地域の「仕事」。職場体験学習の一環で、地域の企業の方に協力をあおぎ、働く心得や地域貢献などについて調べ学習をしています。さらに、創立70周年を迎える今年は、地域を知り、地域に発信したいという願いから、地域に関わる様々なテーマについて調べています。そこで3年生は、常盤中の歴史や地域の

伝統・文化など、調べたことを文化祭で劇やプレゼン等で発表をする予定です。この70周年を機に地域に着目してみると、校歌や須坂市民歌の成り立ちなどを知り、「もっと知りたい、もっと知らなければならない」という気持ちが膨らんできています。私たちは、この学習をきっかけに、「これから地域へ貢献したい、地域とともに歩んでいきたい」と強く思うようになりました。文化祭の発表も地域の方々に伝えていきたいと思っています。



文化祭の発表準備(3年生)

チャイルドライン

18歳までの子どもがかけられる「子ども専用の電話」
フリーダイヤル 0120-99-7777
困っているとき、悩んでいるとき、なんとなく「だれかに話したい」、そんなとき……気軽にかけてください。
★ちょっといいにくいけども、名前は言わなくていいので安心して話してください。
★お説教はしません。どんなことでも、いっしょに考えます。
みんなにカードが届くよ。フリーダイヤルでかけてね!
チャイルドラインは皆さんの赤い羽根共同募金が設立されています。

あなたのまちのボランティアセンターへ行こう!

●発行/お問い合わせ ●
社会福祉法人 ふれあいネットワーク
長野県社会福祉協議会
〒380-0928 長野市若里7-1-7 県社会福祉総合センター内
TEL.026-226-1882 FAX.026-228-0130
電子メール vcenter@nsyakyu.or.jp
ホームページ http://www.nsyakyu.or.jp
公益社団法人 信濃教育会
〒380-0846 長野市旭町1098 TEL.026-232-6994
ホームページ http://www.shinkyu.or.jp/